

その他の接客娯楽業－その他における高温・低温物との接触災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	14~15	店舗内の厨房にて、揚げ物中に油に火がついた。消火器を使用して消火にあたった際に、飛び散った油で両腕に火傷した。	29~29	10
5	13~14	調理場内において、注文が入ったため、手鍋でお湯を沸かしていたところ、ガスコンロから手鍋が落下しそうになり、手で押さえたところ鍋が傾き、お湯が右手首にかかり火傷を負った。	59~9	1
6	20~21	閉店準備の片付けをしていた際に、他スタッフがシンクの上のポットのお湯を捨てようとして、蓋を開けたまま持ち上げた時に手がすべり、そばに座っていたスタッフ（火傷をした本人）にお湯がかかってしまった。お湯は、お客様のお茶用に作ってあるもので、保温の状態であった。	22~9	1
7	14~15	被災者は厨房にてオムライスを乗せる容器にデミグラスソースを入れレンジにかけ取り出した時に蓋が外れて、デミグラスソースが顔にかかり火傷したもの。	61~29	10
9	10~11	店の厨房で作業中、味噌汁の具を渡そうとしたところ、味噌汁サーバーの調整をしていたスタッフの持っていたお湯が誤って右足の上にかかってしまい、その際負傷した。	64~99	50
9	23~24	ホール内にて、コーヒー用のポットを片付けるため、ポットの中のお湯を捨てようとしたところ蓋が外れ、中のお湯が左手甲にかかり負傷したもの。	30~29	10
	18~			10

11	19	シュレッダーの清掃をしていたら爆発し負傷した。	33	～
				29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html